

日本の 民主主義と 安全保障

2月に実施された沖縄の辺野古県民投票。7割を超える県民が埋め立て「反対」に票を投じ、日本本土に問いを投げかけました。安全保障は、日本本土の私たちも当事者であり、普天間基地の代替施設が本当に必要なのか、安全保障の負担のフェアな在り方とは何か、国民的議論により応えなければなりません。小金井市議会が12月に可決した意見書、そして小平市議会が2月に可決した意見書を活かし、私たちに来ることを考えましょう。

5/25 SAT

18:45-21:30

参加費800円

18:30開場 18:45開演 21:30終了

小金井 宮地楽器ホール<小ホール>

講演

「辺野古新基地は本当に必要か？」

井筒高雄
(元陸上自衛隊レンジャー隊員、ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン共同代表)



「沖縄の基地問題から民主主義を考える」

親川志奈子
(沖縄大学非常勤講師。新しい提案実行委員会メンバー。研究テーマは言語復興、脱植民地化。)



トークセッション

「私たちにできる『新しい提案』とは？」

井筒高雄、親川志奈子、米須清真
(新しい提案実行委員会メンバー、小金井市議会意見書のベースとなる陳情書を提出)、針谷幸子 (辺野古問題を考える小平市民の会メンバー、小平市議会意見書のベースとなる請願を提出)



共催: Okinawa-koganei / 辺野古問題を考える小平市民の会
問合せ: Okinawa-koganei (090-2460-9303)

場所: 小金井 宮地楽器ホール
(市民交流センター)
小ホール(定員150人)
(JR武蔵小金井駅南口徒歩1分)